

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成30年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立青少年センター	所管課	教育委員会 社会教育課
所在地	甲府市川田町517	設置年月日 (改築年月日等)	昭和45年12月1日
管理方式	公益財団法人 山梨県青少年協会		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立青少年センター設置及び管理条例		
設置目的	青少年に自主的かつ創造的な活動、交流等の場を、青少年を指導する者に研修の場を提供することにより青少年の健全な育成を図るとともに、勤労者に研修、交流等の場を提供することによりその福祉の増進に資するため。		
主な施設内容 (定員等)	<ul style="list-style-type: none"> ・本館：第1研修室(72人)、第1会議室(24人)、第2会議室(45人)、第3会議室(24人)、第4会議室(12人)、第1・第2和室(各5人)、運動場、テニスコート、宿泊施設、食堂、事務室、書庫兼会議室、青少年相談室、体育館、プール(25m×15m、7コース) ・別館：音楽室、団体事務室、団体交流室、多目的ホール(180人) ・リバーズ和戸館：第5会議室(18人)、第6会議室(18人)、第7会議室(25人)、第2研修室(50人)、第3研修室(30人)、第3和室(30人)、視聴覚室(48人)、体育館、トレーニング室 		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) 施設の利用承認等に関する業務 (2) 施設管理に係る業務 (3) 青少年健全育成等に関する業務 (4) 防災等に係る業務 (5) 管理運営に必要な業務 (6) 施設及び設備の維持管理業務 		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	<ul style="list-style-type: none"> (1) 男女共同参画推進センター(びゅあ総合) (2) 小瀬スポーツ公園 (3) 緑が丘スポーツ公園
---------------------	--

3 利用状況

単位:人、%

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (目標値)
利用者数	利用者数	220,561	209,129	204,299	
	(うち事業参加者数)	(9,135)	(6,790)	(5,887)	
	利用者数合計	220,561	209,129	204,299	
	目標値	289,334	289,770	290,206	217,000
	目標値設定の考え方及びその理由	<p>【平成28～30年度】 過去5年間(H20～24年度)の実績値と平均上昇率を参考に設定した。 【令和元年度】 H26.28.29年度の平均数値を目標値とした。 (H27年度は近隣小学校の都合により一時的に利用者数が増加した。)</p>			
	対28年度比		94.8%	92.6%	
利用率	42.8%	41.7%	39.8%		

4 指定管理業務の収支状況

単位:円、%

		平成29年度	平成30年度 (計画値)	平成30年度 (実績値)	令和元年度 (計画値)
収入	施設利用料	22,686,910	22,847,000	22,933,760	23,086,000
	指定管理者委託料	106,353,000	106,425,000	106,425,000	109,466,000
	その他	2,759,858	2,605,000	2,565,277	1,886,000
	収入合計(A)	131,799,768	131,877,000	131,924,037	134,438,000
支出	人件費	66,430,719	68,859,000	75,508,198	68,278,000
	県への納付金				
	管理運営費	66,101,542	63,018,000	69,594,925	66,160,000
	うち外部委託費(B)	23,094,018	20,836,000	20,939,221	19,621,000
	支出合計(C)	132,532,261	131,877,000	145,103,123	134,438,000
収支差額(A-C)	△ 732,493		△ 13,179,086		
外部委託比率(B÷C)	17.4%	15.8%	14.4%	14.6%	
利用者一人当たりの経費	508.6	366.7	520.9	504.4	

5 利用者満足度(アンケート様式は別添のとおり)

実施方法等	実施時期:平成30年4月～31年3月 実施方法:利用者へのアンケート 回答数: 2,477件
-------	--

単位: %

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
①施設の広さは十分ですか。	93.5%	6.5%	0%	0%
②備品用具の種類・数量は十分でしたか。	93.4%	6.3%	0.2%	0.1%
③施設等は全体として充実していましたか。	91.0%	8.6%	0.1%	0.3%
④利用施設は清潔でしたか	91.0%	8.4%	0.5%	0.1%
⑤設備は使いやすかったですか	91.2%	8.7%	0.1%	0%
⑥設備用具の整備状況は良好でしたか。	91.9%	7.2%	0.5%	0.4%
⑦料金は適切だと思いますか	92.5%	7.3%	0.1%	0.1%
⑧職員の対応は適切だと思いますか。	94.4%	5.1%	0.4%	0.1%
⑨利用可能時間は適切だと思いますか。	93.1%	6.6%	0.3%	0%
⑩施設のバリアフリーは十分でしたか。	89.5%	9.4%	1.0%	0.1%
⑪サービス内容は全体的に良好でしたか。	92.9%	6.8%	0.3%	0%
施設全般の満足度	92.7%	7.2%	0.1%	0%

利用者の意見	<p>【施設・設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リバース和戸館のエアコンの修理をして欲しい。 ・駐車場が狭いので、増やして欲しい。 <p>【開館時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8時半ごろから準備のため利用したい。 <p>【利用者サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点字ブロックが欲しい。
利用者の意見への対応	<p>【施設・設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県に現状を報告済み。専門業者に確認したところ、修理には多額の費用が必要となる見込み。修理予定は未定である。 ・本館、別館、体育館、リバース和戸館にそれぞれ駐車場があり、全体で283台が駐車可能だが、大人数での大会利用や研修会などがある場合は、満車になることがある。そのため、利用者には事前の打ち合わせや予約時に、できるだけ公共交通機関や、乗り合わせでの来館をお願いしている。当施設の立地状況などから拡張は難しい。 <p>【開館時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9時から施設の利用は可能となっているが、利用者サービスのため、清掃や開館準備を早め、8時45分から利用可能としている。利用者に理解いただけるよう努める。 <p>【利用者サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点字ブロックについては、県に設置の検討を依頼する。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>法規に基づく点検を専門業者に委託するなど、徹底した管理運営を行っている。また、法規の定めのないものについては、職員による日常点検の実施と安全性をより重視した月次定期点検を実施している。</p>	<p>法定点検業務等施設の維持管理業務が、事業計画に基づき適切に実施されている。</p> <p>利用者の安全確保に重点を置き、施設内の秩序を維持し、安全衛生対策のためのマニュアル作成及びそれに基づく周知徹底を図っている。</p>
運営業務	<p>事業計画等に基づき、適正に業務を執行した。また、利用者が施設を安全かつ快適に利用できるよう、アンケート調査の内容など利用者の声に耳を傾け、より安全で快適な施設管理を行った。</p>	<p>事業報告書及び現地確認の結果、適正に業務が運営されている。今後も利用者のニーズの把握に努め、利用者の増加やサービスの向上に努めること。</p>
利用状況	<p>前年度の利用者(209,129人)に対し4,830人の減少となった。</p> <p>減少した要因は、リバーズ館の会議室の冷房の故障により、夏期の利用が約4,800人減少したことが主な要因だと考えられる。</p> <p>検討会を開きより効果的な広報活動を行い利用者増を図る。</p>	<p>リバーズ館の会議室の冷房の故障が要因となり利用者減となっているが、利用者拡大に向けて一層の努力を求める。</p> <p>特に新規利用者に対して、利用方法や予約の空き状況などを丁寧に説明し、再利用していただけるように工夫すること。</p> <p>事業参加者を増加・確保するため、魅力ある事業を展開すること。</p>
収支状況	<p>利用者サービスの向上とコスト意識を高めた予算管理を行った。そのため、燃料費や委託料を節約することができたが、下水道の使用開始や施設小修繕の増加があったため、光熱水費や修繕料は増加した。</p>	<p>業務委託、物品購入等常時経費の削減に努めること。人件費、賃金等の削減により、サービスの質が悪化しないように注意すること。</p> <p>利用料金収入が減少した部分について十分に分析・検討し、職員一同が共通認識を持ち、常に改善のために努力と工夫をしていくこと。</p>
自主事業	<p>昨年度に引き続き「甲運地区子供教室」を実施した。本年度は甲運小学校、甲府市教育委員会・子ども未来部、甲運小放課後児童クラブ、当協会で推進協議会を開催し、事業内容の充実を図った。</p> <p>また、「コンサルテーションビューロー事業」では、年々相談件数等が増加傾向にあり、今後も若者の様々な悩みに対応した相談業務を実施していく。</p>	<p>居場所作り一環として、甲府市等の地域と協働して行う「甲運地区子供教室」の事業や、若者の相談機関である「コンサルテーションビューロー事業」など、青少年健全育成事業に積極的に取り組んでいる。</p> <p>今後も利用者のニーズを把握し、利用者の満足度を向上させる魅力ある自主事業の企画に努めること。</p>
利用者満足度	<p>利用者アンケートの要望については、より安全で快適な施設管理を行うため可能な限り迅速な対応を行った。</p> <p>また、専門的な知識や技術を要する修繕についても、利用者の安全を第一に対応を検討し、必要に応じて県への報告と協議を行った。</p>	<p>利用者アンケートについては、定期報告書により毎月報告されている。引き続き、アンケートをもとに、施設設備や業務の改善を図り、創意工夫を凝らした管理運営に努めること。</p>

<p>運営目標の達成状況</p>	<p>事業計画等に基づき、専門業者による法定点検及び職員による日々の定期点検を実施し、結果については県に報告し確認を受けている。</p> <p>また、施設の維持管理については、利用者が施設を安全かつ快適に利用できるよう、アンケート調査の内容など利用者の声に耳を傾け、より安全で快適な施設管理を行った。</p> <p>平成30年度は利用者数目標値(290,206人)を達成することができなかった。また、前年度の利用者(209,129人)に対し4,830人の減少となった。</p> <p>減少した要因は、リバース館の会議室の冷房の故障により夏期の利用が前年比約4,800人減少したことが主な要因だと考えられる。</p>
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>概ね事業計画どおり指定管理業務を実施しており、企画事業にも創意工夫が見られる。平成30年度も利用者数目標値には達成できなかったが、総合的な利用者満足度は高い評価を得ている。今後も利用者の声に耳を傾け、更なる施設稼働率の向上と利用者数の増加を図る取り組みを期待する。</p> <p>リバース館の会議室の冷房の故障については、予約の際に冷房設備の機能している本館会議室の利用を進める他、利用者の理解を得られた上でリバース館の会議室を予約してもらうように指示した。</p> <p>施設の老朽化が進んでいるので、利用者の安全で安心して利用できるように、施設設備の日常の保守・点検を行い、不具合がないように迅速に対応することを指示した。</p>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>利用者アンケート調査等を参考に、企画事業や質の高いサービスの向上に努めた。また、担当者間の企画会議を行い、利用者増に向けた広報の検討会を実施し利用の少ない地域への広報活動を実施した。</p> <p>リバース館の会議室冷房の故障については、利用者へ状況の説明を行い、理解されたうえで本館に移動してもらった。また、どうしてもリバース館が利用したい団体のために、スポットエアコンをレンタルし利用者サービスに努めた。</p> <p>利用者が安全で安心して利用できるよう、定期的開催する職員ミーティングにおいて職員の意識付けや防犯対策の強化を図った。</p>

7 管理体制(組織図)

平成30年4月1日現在



館長	1人
副館長	1人
課長	1人
一般職員	3人
契約社員	9人
合計	15人